

各社選抜10チーム 3カ月の成果発表

E・Jグループ フォーラム開催

エイト日本技術開発（E・J EC）をはじめとするグループ各社による「第17回E・Jグループフォーラム」が13日、岡山市のエイト日本技術開発第2ビルをメイン会場に開かれた。写真。グループ各社、各支社拠点をつなぐウェブ形式で約2000人が参加した。昨年同様、各社から選抜



された社員によるチームディスカッションの成果を発表。E・J EC九州支社の山下龍太郎氏と同東京支社の目崎文崇氏による「team08が考える『事業領域の拡大』」がE・Jホールディングス（E・JHD）社長賞に選ばれた。ディスカッションのテーマは「E・Jグループの持続的成長に向けた拡大・進化への取り組み」。サブテーマである「人材の確保と育成」「付加価値の創造」「グループ力の発揮」「生産性の向上」「事業領域の拡大」の5項目を選抜10チーム（約70人）に割り振り、約3カ月に及ぶ議

論や実践を通じた成果を発表した。当日は、会場とウェブ視聴者とのディスカッションの時間も設けられた。

審査の結果、E・JHD社長賞のほか、E・Jグループ審査員特別賞に「インフラ×まなび×あそびプロジェクト」E・JHDグループ技術力の教育・エンタメ化と地域共創型成長戦略」（発表者＝二神建築事務所・高室直紀氏、E・J EC東北支社・籠谷純一氏）、同社員特別賞に「E・Jグループの生産性を高めるAI活用戦略・知識・業務・文化の再設計」（同＝E・J ECPI本部・鈴木智由氏）が選ばれた。

フォーラム開催に先立ち、E・JHDの小谷裕司社長が「発表者の皆さんには忙しい仕事の合間の時間を活用し成果をまとめてもらった。さまざまな工夫や発想をグループ各社の参考にしてほしい」とあいさつした。

